

# 2025 北海道ブロック女性会議

2025年3月22日、連合北海道ブロック女性会議がハイブリッドで開かれ、

8産別4地区31人が参加しました。



司会の鈴木素能子幹事

はじめに、連合北海道女性委員会河原崎育子委員長から挨拶があり、連合が21日金曜日に取りまとめた回答についてふれ、賃上げの加重平均は5.36%、中小企業300人以上は4.91%、300人未満は4.92%、額・率ともに昨年を上回ったが、春闘方針では企業規模間だけでなく雇用形態格差、男女間格差是正を進めるとされていることから注視していきたい。また、2024年10月からジェンダー平等推進計画フェーズ2が作成された。女性が意思決定の場が増えることにより、多様性が意思決定に反映されることになる。今会議について、情勢を把握し、産別に学ぶ会議にしたいと話しました。



河原崎育子委員長

次に、連合本部 総合政策推進局 菅村裕子局長から4点について提起がありました。①運動計画の重点分野(抜粋)は、「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進」「ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現」。②2025

春季生活闘争方針では、男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正やAGCグリーンテック事件の裁判で事実上男性のみ適用される福利厚生で、女性に相当程度の不利益を与えていることに合理的理由はない。

「間接差別」に該当するとの判決があった事例を話されました。③改正育児・介護休業法では、改正の主な内容として(1)子が3歳まで、育児のためのテレワークの導入(努力義務)→(努力義務化)(2)子が3歳以降～小学校就学前まで、柔軟な働き方を実現するための制度の導入(義務化)※会社が、労働者が利用できる制度を2つ以上選択したうえで提示し、労働者はその中から1つ選べる制度(例)養育両立支援休暇(10日/年)

(フルタイム勤務者)、短時間勤務制度(3)所定外労働の制限(残業免除)を、子が小学校就学前までに延長



菅村裕子局長

(義務化)(4)子の看護休暇の対象年齢を小学校3年生までに延長・取得事由の拡大(義務化)、感染症に伴い学級閉鎖や入園・入学式、卒園式にも利用できる。また、介護の制度に関する個別の周知。意思確認が義務化。補足として子に障がいがある場合・医療的ケアを必要とする場合やひとり親家庭などへの配慮が必要であることが説明されました。④ジェンダー平等推進計画では、フェーズ2の新規のチェンジ目標として、トップリーダー自らが、男女平等参画、ジェンダー平等推進についてのメッセージを発信する。新規のチャレンジ目標として、女性を三役に登用、執行機関への女性の参画率50%が入りました。

産別報告では、自治労の橋爪奈都恵さんから2点取り組み報告がありました。1点目は「女性の働く権利確立運動強化月間」について。職場の「権利実態調査」や「職場改善実態調査」をし、分析し要求行動へつなげている。もう一つは1月18日の「女性交流集会」では、講演で「セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ」について学び、「自分の身体は自分で守る」「自分の気持ちを尊重し、生き方を選択していい」と認識することが、自分らしく生きるための力になり、広げていくことによって社会が変わっていく第一歩になると確認した。分散会では、人員不足、人間関係、ハラスメント、休暇が取りづらいなど職場実態を話し、生理休暇・更年期休暇が課題となっている。全国の単組では名称変更し男女とも全員が取れる制度に変更したところもある。2点目は「組織強化」についてです。様々な課題があるが、女性部の存在意義として、困っている仲間を全道の仲間につなげる、女性が自ら課題解決への要求行動ができるようエンパワーメントしていく場でもある。意義を丁寧に伝え、集会やセミナーでの学習や交流など大切に活動を展開していく。産別交流は大切な場所。仲間に身近に寄り添い続け活動していくと報告がありました。



自治労 橋爪奈都恵さん

北海道提起として女性委員会活動報告を菊地貴子事務局長が行いました。女性委員会は本部の方針のもと、働きやすい職場をつくるため学習を進めハイブリッドで様々な集会を行いました。役員で「話そう自組織の男女平等」というテーマでトークセッションをしたり、ハラスメントについて学習しその後男性3人女性4人でトークセッションをしたりと新たな取り組みもしました。課題としては9産別の幹事がそろわない、出せないところがある。女性参画には会議に参加できる様な取り組みが必要であると報告がありました。



菊地貴子事務局長



小原成朗総合局長

最後に、連合本部小原成朗総合局長から、産別報告は大切な取り組みです。集まって、連携していく、お互いを高めあうのが大切です。今日は男性が2名いてすごく嬉しい。理解していない男性の中でジェンダー平等推進の発言をしてもアウェー状態です。理解している男性を増やすことは大切。参加者も増えることを祈念してまとめとします。と話され閉会しました。

